

新聞記事掲載

年月日	記事	新聞名
2015/10/2	「くらしナビ 気象・防災」欄で坪木教授がスーパー台風の脅威について解説。	毎日新聞(朝刊)
2015/9/21 2015/9/13 2015/9/10 2015/8/3	第19回自然科学研究機構シンポジウム「宇宙から脳まで 自然科学研究の"ビッグバン" -コンピューターが切り開く自然科学の未来-」開催：20日 豊田講堂で行われ、坪木和久地球水循環研究センター教授が伊勢湾台風を再現したシミュレーションなどを説明	中日(朝刊) 県内版、三重版
2015/9/12	「東海豪雨 9・1 1 忘れない 発生から15年 追悼の集い」名古屋市西区の西文化小劇場ホールでは、区の防災講演会「東海豪雨から15年～あの日を忘れない」に市民三百人が参加。名古屋大地球水循環研究センターの坪木和久教授(53)が講演した。	中日(朝刊)
2015/9/11	クローズアップ2015 偏西風、低気圧遮る「線状降水帯」誘発 台風17号の解説。	毎日新聞(東京朝刊)
2015/7/19	1面「地球異変 シベリア 突然の大穴」、2面「溶ける凍土 メタンの脅威」名古屋大地球水循環研究センターの檜山哲哉教授は「永久凍土の融解が進めば温暖化は加速し、大地や植物だけでなく人間社会にも大きな影響を及ぼす」と話す。	朝日新聞
2015/6/10	坪木教授グループが地球シミュレータを用いて再現した伊勢湾台風のシミュレーションが紹介された。	毎日新聞(朝刊) ウェブサイト
2015/6/7	「スクラムトーク」のコーナーで、猛威をます自然災害にどう立ち向かうべきかを語る。「生命尊重の姿勢が危機意識を高める」	聖教新聞
2015/1/7	坪木和久地球水循環研究センター教授などのグループはスーパーコンピューターを使い地球温暖化に伴いスーパー台風の強度が増大するという予測結果を発表。	中日新聞(朝刊)
	同上	読売新聞(朝刊)
	同上	時事通信
2014/10/17	中日文化センター講座「水の危機 地球環境のフロンティア」：檜山哲哉地球水循環研究センター教授	中日新聞(夕刊)
2014/10/14	上田博・「台風禍 東海各地に」「列島縦断し勢力弱まる」台風19号の解説。	中日(夕刊)
2014/9/28	坪木和久・「減災」記事「スーパー台風直撃の脅威」「温暖化で日本来週への恐れも」	読売新聞日曜版特集
2014/9/19	「巨大台風の恐れ」想定実験を行った坪木和久名古屋大教授(気象学)は「巨大台風による水害は将来起こりうる災害で、今から対策を考えなければならない」と指摘する。	読売新聞(朝刊)
2014/9/15	ラボ通信：台風予測モデルを開発 坪木和久地球水循環研究センター	読売新聞
2014/9/11	東海豪雨14年特集にて「東海豪雨 怖さ忘れず」名古屋大地球水循環研究センターの坪木和久教授(気象学)は「一度に降る雨の量と強さが増している」と指摘する。	中日新聞(朝刊)
2014/9/7	「モンスーンの動きを計算」名古屋大学の篠田太郎准教授は海洋機構や琉球大学と協力し、モンスーントラフに近いパラオで観測に臨んだ。	日本経済新聞(朝刊)

2014/8/12	「異常気象と闘う1 強大な台風正体に迫る」 台風の位置の予測精度が改善した。ただ、強度はなかなか正確に予測できない。「上空の雲の状態をコンピューターで正しく再現できていないのが一因だろう」と名古屋大教授の坪木和久（52）は考える。坪木らは接近する台風の雲に向けて観測機材を付けた気球を上げ、解明に挑む。	日経新聞（朝刊）
2014/7/24	坪木和久・「台風より高精度で」コンピューターモデルと観測の研究の両論が予測が難しい台風の挙動を解き明かす。	読売新聞（夕刊）
2014/7/8	「台風8号 特別警報3時間前倒し」 名古屋大地球水循環研究センターの坪木和久教授（気象学）は「8日までは台風は水温の高い海域を通過するため、さらに発達する可能性がある」と厳重な警戒を呼びかけている。	読売新聞
2014/2/23	上田博・地球水循環研究センター教授「南岸低気圧」注意が必要	信濃毎日新聞
2013/12/30	（キーワード2013 編集委員がやさしく解説） 「異常気象、竜巻・猛暑…列島襲う、記録づくめ、被害も大きく」 名古屋大学の坪木和久准教授によると、温暖化が進むと日本の近くでより強い台風の出現確率が高まり、風速67メートル以上の猛烈「スーパー台風」が接近する恐れもあるという。	日経新聞朝刊
2013/11/30	「（磯田道史の備える歴史学）比の台風の教訓」過去のものでない高潮被害、気象シミュレーションに詳しい坪木和久・名古屋大学教授は、地球温暖化を想定すれば、60年後には、現在の4倍の数のスーパー台風が、日本に上陸する可能性を指摘している。	朝日（朝刊）
2013/11/13	坪木和久・地球水循環研究センター教授「スーパー台風日本襲来可能性ある」	産経新聞大阪本紙夕刊
2013/11/12	坪木和久・地球水循環研究センター教授「フィリピン台風 勢力弱まらず『スーパー台風』に」	毎日新聞
2013/11/8	「つがる市沖で洋上風力発電計画」	東奥日報朝刊の1面
2013/10/27	坪木和久・地球水循環研究センター教授「温暖化止まらぬ地球」	日本経済新聞朝刊「サイエンス」面
2013/10/22	坪木和久・地球水循環研究センター教授「台風27・28号、豪雨の恐れ」	日経新聞朝刊「科学技術」面
2013/10/17	「台風26号、死者不明64、台風ピーク1ヵ月遅く、猛暑の余波、発生・接近しやすく。」将来、地球温暖化が進むと、「強い台風が近づく確率は高まる」と名古屋大学の坪木和久教授は指摘する。	日経新聞朝刊
2013/10/3	「気球 iPhone 地球をとらえた」名古屋大地球水循環研究センター（名古屋市千種区）と名古屋文理大（稲沢市）、蒲郡市生命の海科学館などが共同で打ち上げた気象観測用気球が、高度二十五キロの成層圏に達し、気球に取り付けた市販のiPhone（アイフォン）で地球の姿の撮影に成功した。気球は直径一・八メートルのゴム製で、ヘリウムガスを入れたバルーンの内側に、もう一つのバルーンがある日本初のダブルバルーン方式を採用。ダブルバルーン方式は、研究センターの坪木和久教授らが考案。気圧の低い成層圏で外側が破裂した後も、内側のバルーンがパラシュート代わりになる上、それを目印に発見しやすいといったメリットがある。アイフォンには、文理大の佐原理助教授が開発した省電力で動画・静止画を撮影できるアプリを搭載した。	中日（朝刊県内版）pdf738KB
2013/9/28	「猛暑、台風 脅威に」対策遅れ 科学界が警鐘 IPCC報告書 名古屋大学の坪木和久教授（気象学）は海面水温の上昇で台風の威力が強まると指摘する。	毎日（朝刊） pdf788KB

2013/9/21	東三河、なぜ渇水 ダム降水量は平年の41%:愛知 名古屋大地球水循環研究センターの上田博教授(気象学)によると、尾張地方は湿った南風や南東風が鈴鹿山脈にぶつかり、積乱雲が発生して雨が降りやすいが、東三河は高い山が連なっておらず、雲ができていく傾向があるという。	中日(朝刊)
2013/9/12	「竜巻発生なぞだらけ 間に合わなかった注意報」名古屋大の坪木和久教授(気象学)によると、予測が難しいのは、メソサイクロンの観測から竜巻の発生まで、場合によってあまり間がないためという。注意情報の精度を上げるため、坪木教授は観測網の強化を提案する。	朝日(朝刊) pdf 707KB
2013/9/5	近年、竜巻の数が増えているように見えるが、観測体制や調査の方法が違うため、実態はよくわからない。名古屋大の坪木和久教授(気象学)は「増えていると言えるデータはない」と指摘する。	朝日(朝刊) pdf 786KB
2013/9/3	進む温暖化 竜巻生む 名古屋大の坪木和久教授(気象学)も「温暖化によって竜巻が増えることは理にかなっている」とみる。	朝日(朝刊) pdf511KB
2013/9/3	地球水循環研究センターの坪木教授(気象学)は「国内の竜巻は台風に伴うものが多く、これからの季節はどの地域でも発生する恐れがある。気象庁の竜巻注意情報に気を配り、黒い雲が近づき、雷が鳴るなどの場合は、頑丈な建物の中に速やかに避難することが大切だ」と話している。	読売(朝刊) pdf 2354KB
2013/8/31	坪木和久・地球水循環研究センター教授 防災特集「集中豪雨に備える」	中日(朝刊) pdf 570KB
2013/5/28	壊れる地球(3) 米の竜巻、背景に温暖化? 一極端気象、日本でも。名古屋大学の坪木和久教授は1分平均の最大風速が66.9メートル以上のスーパー台風の発生が60~70年後に4倍になると予測する。	日経新聞朝刊
2012/11/30	地球水循環研究センター長に石坂丞二同教授を選出	中日(朝刊)他2社
2012/7/26	熊谷朝臣地球水循環研究センター准教授はエルニーニョ現象の影響でボルネオ島の熱帯雨林が壊滅的な打撃を受ける恐れがあることを突き止めた	中日(朝刊)
2011/11/15	安成哲三地球水循環研究センター教授らは福島第一原子力発電所の事故で放出された放射性物質の全国分布を推定した地図を作成	朝日(朝刊)他4社
2011/10/9	坪木和久地球水循環研究センター准教授は地球温暖化の影響で世界的に進む台風の強力化について語る	朝日(朝刊)
2011/9/18	坪木和久地球水循環研究センター准教授は台風12号の被害について「もっと台湾の災害に学ぶべきだった」と反省する	日経(朝刊)
2010/10/25	坪木和久・地球水循環研究センター准教授は、気象庁気象研究所などの研究グループが、竜巻に近い構造を持ちながら竜巻に特徴的な「漏斗雲」を持たない突風を観測・撮影したことに関して「大変興味深い発見。積乱雲のもたらす突風に竜巻やダウンバースト以外のタイプがあることを示しており、新たな観測基準を考える必要があるかもしれない」と話す	日経(夕刊)
2010/9/29	坪木和久・地球水循環研究センター准教授「異常気象を終え2 雲のメカニズム 風船から“雨の卵”撮影」	神戸
2010/9/28	第118回博物館特別講演会「熱帯林の不思議な植物」開催:30日 西田佐知子・博物館助教が講演、第119回博物館特別講演会「熱帯林と暮らし」開催:10月7日 伊藤香純・農学国際教育協力研究センター准教授が講演、第120回博物館特別講演会「熱帯林と地球の気候」開催:10月14日 安成哲三・地球水循環研究センター教授が講演	中日(夕刊)

2010/9/20	昨年5月老朽化により地球水循環研究センターの天井から大量に水漏れしたトラブルについて、谷口哲也・地球水循環研究センター事務部長は「改修は必要だが予算不足で」と話す	読売
2010/9/10	第8回地球シミュレータシンポジウム開催：10月5日 坪木和久・地球水循環研究センター准教授が講演	日刊工業
2010/9/6	坪木和久・地球水循環研究センター准教授「ラニーニャ現象発生 猛暑の次は台風多発？」	日経(朝刊)
2010/7/17	坪木和久・地球水循環研究センター准教授は八百津町と可児市に大きな被害をもたらした局地的な豪雨が起きた仕組みについて解説する	朝日(朝刊)
2010/7/17	坪木和久・地球水循環研究センター准教授「岐阜豪雨 風ぶつかる帯発生」	朝日(朝刊)
2010/5/26	坪木和久・地球水循環研究センター准教授は竜巻について「現行の探知方法を考え直す必要があるかもしれない」と話す	日刊工業
2010/4/14	安成哲三・地球水循環研究センター教授 古希の名大 第4部 法人化の波紋	日経(朝刊)
2010/3/24	安成哲三・地球水循環研究センター教授 京都学びの系譜 探検家-4 大型調査隊が研究原点に	京都(朝刊)
2010/3/7	安成哲三・地球水循環研究センター教授 フォーラム「生物多様性の恵みと経済の新たな仕組み」 パネル討論	朝日(朝刊)
2010/2/21	安成哲三・地球水循環研究センター教授 いきもの元年COP10「公平な利益配分とは」議論 名古屋で生物多様性フォーラム	朝日(朝刊)
2010/2/2	国際フォーラム「生物多様性の恵みと新たな仕組み」開催：2月20日 安成哲三・地球水循環研究センター教授、林 希一郎・エコトピア科学研究所教授、林 良嗣・環境学研究科教授がパネリストとして参加	朝日(朝刊)
2010/1/31	同上	朝日(朝刊)
2010/1/26	同上	朝日(朝刊)
2010/1/19	安成哲三・地球水循環研究センター教授 ニュースの理由温暖化時代に記録的寒波	日経(夕刊)
2009/12/6	安成哲三・地球水循環研究センター教授 ナゾ謎かがく「砂漠に『集中豪雨』なぜ」	日経(朝刊)
2009/12/4	地球水循環研究センター公開講演会「気象現象を観る・気象現象を測る」開催：5日 上田 博・地球水循環研究センター長が講演	読売
2009/11/30	「宇宙航空シンポジウム@名古屋大学」開催：12月7日 佐宗章弘・工学研究科教授、塩川和夫・太陽地球環境研究所教授、國枝秀世・理学研究科教授、中村健治・地球水循環研究センター教授、家森信善・経済学研究科教授、金田英宏・理学研究科准教授が話す	日刊工業
2009/11/29	坪木和久・地球水循環研究センター准教授 継ぐあの日 - 伊勢湾台風50年「大気」相手「最悪」考えて	毎日(朝刊)
2009/11/29	坪木和久・地球水循環研究センター准教授「紙とエンピツからコンピュータ解析」に雲解像モデルを用いたシミュレーション結果掲載	毎日(朝刊)
2009/11/8	ネイチャー・クライシス：檜山哲哉・地球水循環研究センター准教授はサハ共和国の一角で近年地球温暖化などを背景に降雨が激しくなったり雨量が増加したりする傾向が確認されると話す	日経(朝刊)
2009/9/25	坪木和久・地球水循環研究センター准教授「じわり脅威スーパー台風」	朝日(夕刊)
2009/9/16	石坂丞二・地球水循環研究センター教授「海洋環境研究者が来県(富山市)」	北日本

2009/9/16	石坂丞二・地球水循環研究センター教授「海洋生物の研究者が知事を訪問」	富山
2009/9/16	石坂丞二・地球水循環研究センター教授「CEARAC 富山で会議 海の富栄養化把握」	北日本
2009/9/15	石坂丞二・地球水循環研究センター教授「CEARAC 4カ国間協議始まる 富山 海の環境保全テーマ」	北日本
2009/9/8	坪木和久・地球水循環研究センター准教授“Supertyphoon in store as seas warm”	The Japan Times
2009/9/25	本学と気象研究所のチームは今世紀後半に「スーパー台風」が日本を襲う可能性があるとの予測をまとめる チームの坪木和久・地球水循環研究センター准教授は「いかに予報し、災害軽減対策を講じるかが重要になる」と話す	朝日(夕刊)
2009/9/7	同上	中日(夕刊)
2009/9/7	坪木和久・地球水循環研究センター准教授「風速80メートルの台風襲来も」	日経(夕刊)
2009/9/7	坪木和久・地球水循環研究センター准教授「風速80メートル日本襲う？」	岐阜(夕刊)
2009/8/26	篠田太郎・地球水循環研究センター助教「台風研究の最前線紹介」名大で公開講座	中日(朝刊)
2009/8/8	愛知県立図書館特別企画・講演会「地球温暖化で日本の雨と雪はどう変わるか？」開催：8日 安成哲三・地球水循環研究センター教授が講演	中日(朝刊)
2009/8/5	本学、東京大学および気象研究会共催で「21世紀気候変動予測革新プログラム」の公開シンポジウム開催：27日 坪木和久・地球水循環研究センター准教授が海洋研究開発機構特任上席研究員 杉 正人氏とともに「温暖化で台風はどうなる？」のテーマで講演	日刊工業
2009/7/28	上田 博・地球水循環研究センター教授「長梅雨 エルニーニョ影響？」	中日(朝刊)
2009/3/13	シンポジウム "環境学の新たな展開－科学・政策・市民社会をつなぐー" 12日開催：コーディネーターは林 良嗣・環境学研究科長、エルンスト・U・フォン・ワイツゼッカー本学客員教授の基調講演「科学から政策への橋渡し」、安成哲三・地球水循環研究センター教授、井村秀文・環境学研究科教授らがパネル討論に参加	日刊工業
2009/3/6	同上	中日(朝刊)
2009/3/5	同上	中日(朝刊)
2009/1/7	安成哲三・地球水循環研究センター教授「アジアの気候変動解明へ」	中日(夕刊)
2008/9/6	坪木和久・地球水循環研究センター准教授らの研究グループは、8月28～30日にかけて東海地方を襲った記録的豪雨を、特殊なレーダーを使って分析	中日(夕刊)
2008/8/29	今回大雨になった原因について、坪木和久・地球水循環研究センター准教授は、「降雨域が南北に延び、その東側から風が流れ込んだため」と指摘する	中日(夕刊)
2008/8/12	東海酷暑 安成哲三・地球水循環研究センター教授は、「フェーン現象」が気温を上げていると指摘し、「都市化の進展でヒートアイランド現象が年々強まり、暑さが厳しくなっている」と分析する	日経(夕刊)

2008/6/16	第15回名古屋大学理学懇話会「地球温暖化に挑む」21日開催：安成哲三・地球水循環研究センター教授「地球温暖化でアジアの気候はどうか？」、高野雅夫・環境学研究所准教授「地球温暖化問題をどうとらえるか？－2050年の担い手たちへ－」	中日(朝刊)
2008/5/25	ネーチャー・ウォッチ：安成哲三・地球水循環研究センター教授 絶え間なく変化する気象 ⑨ 森林破壊	日経(朝刊)
2008/5/18	ネーチャー・ウォッチ：安成哲三・地球水循環研究センター教授 絶え間なく変化する気象 ⑧ モンスーン	日経(朝刊)
2008/1/25	地球水循環研究センター大気圏水循環研究推進チーム(VL推進室)「温暖化対策共同で研究 仮想研を設立」	河北
2007/11/29	高地の暮らし ヒマラヤの人々：安成哲三・地球水循環研究センター教授 ネットカフェ並ぶ村	朝日(夕刊)
2007/11/29	地球水循環研究センターは局地落雷や竜巻などを素早くとらえ、降雨を正確に観測できる「水循環観測マルチパラメータシステム」を導入	中日(朝刊)
2007/11/29	同上	フジサンケイビジネスアイ
2007/11/29	同上	日刊工業
2007/11/29	同上	電気
2007/11/29	同上	時事通信
2007/11/29	上田 博・地球水循環研究センター教授「局地落雷や竜巻素早くキャッチ」	中日
2007/11/27	高地の暮らし ヒマラヤの人々：安成哲三・地球水循環研究センター教授 山の民「天気が変わる」	朝日(夕刊)
2007/10/22	坪木和久・地球水循環研究センター准教授 加賀で子ども博士教室	北國
2007/10/22	坪木和久・地球水循環研究センター准教授 子ども雲博士教室「台風・竜巻のふしぎ」	北陸中日
2007/10/19	上田 博・地球水循環研究センター教授 東海総通局名大の気象レーダ許可マルチパラメータレーダに変更	電波
2007/10/16	坪木和久・地球水循環研究センター准教授 学会で発表「羽越線事故竜巻原因か」	読売(朝刊)
2007/10/16	坪木和久・地球水循環研究センター准教授 05年羽越線脱線事故突風は「竜巻と特定」 15日の日本気象学会で発表	読売(朝刊)
2007/10/13	同上	朝日(朝刊)
2007/9/16	上田 博・地球水循環研究センター教授「雲にレーダ波 突風予測 最前線 竜巻の研究から」	読売(朝刊)
2007/4/25	地球水循環研究センター大気圏水循環研究推進チーム(VL推進室)「地球温暖化対策に仮想研究所」	毎日(朝刊)
2007/4/20	地球水循環研究センター大気圏水循環研究推進チーム(VL推進室)「4国立大が温暖化研究」	朝日(朝刊)
2007/3/31	地球水循環研究センター大気圏水循環研究推進チーム(VL推進室)「温暖化研究4大学連携－気候予測システム開発－」	日経(夕刊)
2007/2/12	坪木和久・地球水循環研究センター助教授 「竜巻の発生再現に成	河北(朝刊)
2007/2/10	坪木和久・地球水循環研究センター助教授 「竜巻予測いつ実現 コンピューターで再現実験」	河北(夕刊)
2007/2/5	坪木和久・地球水循環研究センター助教授「竜巻予測へ研究着々」	高知(朝刊)
2007/2/5	坪木和久・地球水循環研究センター助教授「竜巻予測可能か 数値モデル研究着々」	新潟日報

2007/2/5	坪木和久・地球水循環研究センター准教授「研究着々進む竜巻発生予測」	宮崎日日
2006/12/23	本学の、法科大学院、発達心理精神科学教育研究センター、地球水循環研究センター、生命農学研究科の事業が文部科学省の「特別教育研究経費」の新事業に認められる	中日(朝刊)
2006/12/19	地球水循環研究センター長に上田 博・地球水環境センター教授が再任	中日(朝刊)
2006/12/1	竜巻予報いつの日か：坪木和久・地球水循環研究センター准教授は、佐呂間町の竜巻の際、ドップラーレーダーで巨大な積乱雲である「スーパーセル」内の竜巻低気圧をみついていた	朝日(夕刊)
2006/11/9	日本版ツイスター時代到来？：上田 博・地球水循環研究センター教授は、今後佐呂間クラスの竜巻が短い間隔で発生してくる可能性があることを指摘	東京
2006/11/8	坪木和久・地球水循環研究センター助教授は、北海道で起きた竜巻は国内最大規模の竜巻であり、発達した積乱雲が原因だった可能性があると分析し、「竜巻は平野部が多いが、どこでも発生するため、台風などの大きな気象現象が起きているときは、どこでも注意が必要」と語る	朝日(朝刊)
2006/11/8	上田 博・地球水循環研究センター教授「“竜巻の巣”積乱雲発生」	読売(朝刊)
2006/10/16	坪木和久・地球水循環研究センター助教授による解析で、9月17日、宮崎県延岡市で発生し死者3人を出した竜巻は、1999年に愛知県豊橋市で起きた国内最大級の竜巻と発生状況が酷似していることが判明	読売
2006/8/8	本学と京都大学の研究チームは、今夏から、日本に接近する台風の内層を高性能レーダーで地上から観測し、暴風雨をもたらす台風のメカニズム解明を目指す研究チームの坪木和久・地球水循環研究センター助教授は、「台風に伴う暴風雨の構造を明らかにし、防災に役立てたい」と話す	毎日(夕刊)
2006/7/2	かがくCafe：安成哲三・地球水循環研究センター教授「生態系が気候に及ぼす影響に注目」	日経(朝刊)
2006/6/16	台風に伴う豪雨と暴風の量的高精度予測を目指す観測プロジェクトが始まり、坪木和久・地球水循環研究センター助教授が代表を務める研究組織は、下地島・多良間島に降雨観測用ドップラーレーダーを設置	宮古毎日
2005/11/1	名大サロンの主役：安成哲三・地球水循環研究センター教授、生命は環境と相互作用	中日(朝刊)
2005/5/9	日本気象学会の2005年度春季大会公開シンポジウム「地球環境の進化と気候変動」を15日に開催。安成哲三・地球水循環研究センター教授ら基調講演	日刊工業
2004/12/28	地球水循環研究センター協議員会は中村健治センター長の後任に上田 博教授を選出、太陽地球環境研究所教授会は上出洋介研究所長の後任に藤井良一教授を選出、発達心理精神科学教育研究センター協議会は本城秀次センター長の再任を決定	中日(朝刊)
2004/12/25	挑む：安成哲三・地球水循環研究センター教授「丸ごと見る」視点を	毎日(朝刊)
2004/9/1	日本の梅雨は多雨と小雨が交互に訪れる二年周期の傾向・海洋研究開発機構と安成哲三・地球水循環研究センター教授ら発表	中日(朝刊)
2004/9/1	同上	読売
2004/8/22	24日に日本気象学会中部支部主催の公開講座開催。坪木和久・地球水循環研究センター助教授らが講演	読売

2004/6/4	上田 博・地球水循環研究センター教授『天気予報最近なんか変』に関して「日本の天気予報の向上には国際協力が必要」	中日(夕刊)
2004/5/22	第5回高等研究院セミナー25日開催。安成哲三・地球水循環研究センター教授、宇澤達・多元数理科学研究科教授講演	読売
2004/3/1	ひと・仕事：安成哲三・地球水循環研究センター教授「地球学」を世界に先駆け構築したい	中日(朝刊)
2003/5/13	新型衛星を利用し降水メカニズムを解明する国際プロジェクト「各国の災害防止にも役立てられる」計画の中心となっている中村健治・地球水循環研究センター教授	朝日(朝刊)
2002/12/18	発達心理精神科学教育研究センター協議会が本城秀次センター長、地球水循環研究センター協議員会が中村健治センター長を再選出	中日(朝刊)
2002/12/4	地球水循環研究センター公開講演会。テーマは「東ユーラシアの地球水循環」シンポジオン・ホール	読売
2002/3/6	坪木和久・地球水循環研究センター助教授が竜巻発生をCGで再現	読売(朝刊)
2001/11/19	2001年度戦略的基礎研究課題決まる。本学からは中村健治・地球水循環研究センター教授が選定される	日刊工業
2001/10/12	気象学会シンポジウムで金田幸恵・地球水循環研究センター研究員が東海豪雨のメカニズムを発表	毎日(朝刊)

ラジオ

放送日	番組	放送局	タイトル	出演
2015/8/3	「気分爽快！多田しげおの朝からPON」（月～金 朝6時半～9時）の「情報サプリメント」コーナー	CBCラジオ	シベリアの巨大クレーターについて解説	檜山哲哉
2014/8/4	ネットワーク1/17	MBSラジオ	電話出演でスーパー台風について解説	坪木和久
2013/9/9 2013/9/10	夕焼けナビ	東海ラジオ	竜巻注意情報について専門的な立場からリスナーにわかりやすく解説	坪木和久
2013/8/11	2013名古屋大学ラジオ放送公開講座	東海ラジオ放送株式会社	人と海のつながり：人・水循環・海洋生態系	石坂丞二

TV

放送日	番組	放送局	内容	出演
2015/12/10	ニュースウォッチ9	NHKテレビ	坪木教授のグループが作成した地球温暖化予測シミュレーションの画像を提供	坪木和久
2015/11/30	NEWS23	TBSテレビ	坪木教授のグループが作成したスーパー台風の3次元シミュレーション画像を提供	坪木和久
2015/11/19	おはよう日本	NHKテレビ	<世界が注目！ネット動画>で彩雲について解説	高橋暢宏
2015/10/24	ニュース7	NHKテレビ	巨大ハリケーン「パトリシア」について解説（電話取材）	坪木和久
2015/10/3	週刊ニュース深読み	NHKテレビ	台風21号について解説	坪木和久
2015/9/17	BSプレミアム「コズミックフロントネクスト」	NHK BSプレミアム	ひまわり8号により観測された気象現象に関するコメント	坪木和久
2015/9/14	ほっとイブニング	NHK	東海地方の河川の安全性について	坪木和久
2015/9/12	NHKスペシャル「緊急報告 列島大水害」	NHKテレビ	関東・東北の大雨災害についての解説	坪木和久
2015/9/7	イッポウ	CBC	竜巻について	坪木和久
2015/9/17	コズミックフロント☆NEXT	NHK BS	ひまわり8号運用開始以降、様々な現象を見て我々が注目した現象に関して、先生の御見解を伺う。	坪木和久
2015/8/26	報道ステーション	テレビ朝日	台風15号について解説	坪木和久
2015/5/25	ニュース7	NHKテレビ	計算能力が10倍になった第3世代「地球シミュレータ」本格稼働のニュースに関して坪木教授が取材を受けた	坪木和久
2015/5/11	「グッド！モーニング」（4:55～8:00、東海地方では別番組を放送）	テレビ朝日	台風の多数発生に関連して、将来の台風の強化についてコメントした	坪木和久
2014/10/14	報道ステーション	テレビ朝日	地球温暖化による極端気象現象について解説	坪木和久
2014/10/12	報道ステーションサンデー	テレビ朝日	台風19号について解説	坪木和久 加藤雅也
2014/10/9	NEWS23	TBSテレビ	台風19号について解説（電話取材）	坪木和久

2014/10/9	ニュース7、ニュース9	NHKテレビ	台風19号について解説（電話取材）	坪木和久
2014/10/4	News Every サタデー	日本テレビ	台風18号について解説	坪木和久
2014/10/3	報道ステーション	テレビ朝日	台風18号について解説	坪木和久
2014/10/3	ニュース7	NHKテレビ	台風18号について解説	坪木和久
2014/9/26	イッポウ	CBCテレビ	伊勢湾台風55年特集に当センター開発の雲解像モデルで作成した台風のCG画像を提供した	坪木和久
2014/9/26	「キャッチ」特集"伊勢湾台風55年"	中京テレビ	坪木教授が出演し、伊勢湾台風を再現したCG画像を用いて解説した	坪木和久
2014/9/25	スーパーニュース「記者は見た」コーナーの特集「スーパー伊勢湾台風に備えよ」	東海テレビ	坪木教授が出演し、伊勢湾台風を再現したCG画像を用いて解説した	坪木和久
2014/9/24	ほっとイブニング	NHK名古屋放送局	伊勢湾台風特集に当センター開発の雲解像モデルで作成した台風のCG画像を提供した	坪木和久
2014/9/5	東海北陸スペシャル「豪雨・台風からどう身を守るか」	NHK名古屋放送局	雲解像モデルにより作成された未来の伊勢湾台風の映像を紹介	坪木和久
2014/8/31	NHKスペシャル「巨大災害 MEGA DISASTER 地球大変動の衝撃 第2集 スーパー台風“海の異変”の最悪シナリオ」	NHK	スーパー台風について解説	坪木和久
2014/8/13	「イッポウスペシャル 異常気象 スーパー伊勢湾台風に備えろ」	CBCテレビ	地球温暖化によるスーパー台風の発生について解説	坪木和久
2014/8/4	報道ステーション	テレビ朝日	電話出演で地球温暖化により激しい雨が増える可能性について解析	坪木和久
2014/7/26	『まるごと知りたい A to Z』「今年も猛暑？どうなってるの！？異常気象」	NHK	坪木教授の台風に関する研究が紹介された	坪木和久
2014/7/11	NEWSLINE	NHK WORLD	6月16日に東海地域で放送された巨大台風の備えが英訳され国際放送された	坪木和久
2014/7/8	モーニングバード	テレビ朝日	超大型台風8号に関して電話取材を受けた	坪木和久
2014/7/8	Nスタ	TBS	超大型台風8号に関して電話取材を受けた	坪木和久
2014/7/8	NEWS23	TBS	超大型台風8号について解説	坪木和久
2014/7/7	報道ステーション	テレビ朝日	超大型台風8号について解説	坪木和久

2014/7/2		CBCテレビ	温暖化によるスーパー台風の発生について解説	坪木和久
2014/6/26	情報まるごと	NHK名古屋放送局	スーパー台風について解説	坪木和久
2014/6/16	ほっとイブニング	NHK名古屋放送局	スーパー台風について解説	坪木和久
2014/3/6	ホットイブニング	NHK	豊田市での小型飛行機墜落事故（3/5）について当日の天候について気象の専門家として解説	坪木和久
2013/12/30	追跡！あのとき何が？列島事件簿2013	テレビ朝日	今年の台風について解説	坪木和久
2013/12/23	かんさい情報ネットten	読売テレビ	フィリピンを襲った台風30号について解説	坪木和久
2013/12/12	年末特別番組『追跡！あのとき何が？列島事件簿2013』	テレビ朝日	2013年の台風について解説しました。	坪木和久
2013/11/24	サイエンスゼロ	NHK Eテレ	温暖化による極端現象のうちのスーパー台風について解説	坪木和久 金田幸恵
2013/11/18	クローズアップ現代	NHK	フィリピンを襲った台風30号について解説（生出演）	坪木和久
2013/11/16	報道特集	TBSテレビ	フィリピンを襲った台風30号について解説	坪木和久
2013/10/31	NEWS23	TBSテレビ	台風27号観測現場の取材	坪木和久 気象学研究室
2013/10/17	クローズアップ現代	NHK	台風26号による伊豆大島での豪雨について解説	坪木和久
2013/9/28	おはよう日本	NHK	地球温暖化した時の台風の強化についての解説	坪木和久
2013/9/24	イッポウ	CBCテレビ	「蒲郡発、成層圏から地球の撮影成功」気象観測用気球に搭載したiPhoneで成層圏から地球を撮影した様子を紹介	気象学研究室学生
2013/9/7	報道特集	TBSテレビ	モデルを使った竜巻の再現実験で検証及び竜巻が発生した時の避難の仕方について専門的立場から解説	坪木和久
2013/9/3	イッポウ	CBCテレビ	モデルを使った竜巻の再現実験で検証及び竜巻が発生した時の避難の仕方について専門的立場から解説	坪木和久

WEB

年月日	Webサイト	内容	担当
2015/12/10 (企画)	(株)建設技術研究所HP	(株)建設技術研究所が気象予報・豪雨情報・危険情報の提供サイトを開発して一般公開する予定。短期間ゲリラ豪雨予測システムに雲解像モデル（オリジナルモデル：坪木教授開発モデルCreSS）を提供する。	坪木和久
2015/8/10	アメリカの科学雑誌 "Scientific American" web版の記事 "Deadly Typhoon Smashes into China after Damaging Taiwan"	坪木教授の論文"Future increase of supertyphoon intensity associated with climate change"(Geophysical Research Letters)が引用された	坪木和久
2015/8/10	気候変動に関するweb site "Climate Wire"		
2014/5/30	NHKエコチャンネルでの特集ページ http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/ipcc/index.html	『地球温暖化 あなたの質問に答えます』に地球水循環研究センター開発の雲解像モデルで作成した台風のCG画像を提供	坪木和久
2014/1/17	「夢ナビ」わくわくする学問発見サイト http://yumenavi.info/lecture.aspx?GNKCD=g006235&OraSeq=0&ProId=WNA002&SerKbn=4&SearchMod=4&Page=1&Keyword=%e5%9d%aa%e6%9c%a8	インターネットによる学問発見サイト「夢ナビー全国の大学教授がキミを学問の世界へナビゲート」に坪木教授の2講義が紹介された。 「積乱雲は地球の大気を動かすエンジン」	坪木和久
	http://yumenavi.info/lecture.aspx?GNKCD=g006236&OraSeq=0&ProId=WNA002&SerKbn=4&SearchMod=4&Page=1&Keyword=%e5%9d%aa%e6%9c%a8	「スーパーコンピュータで異常気象に挑む」	

書籍

発売日	書籍名	出版社	内容
2014/7/14	絶景の旅 未知の大自然へ (地球新発見の旅)	K&Bパブリッシャーズ (K&Bパブリッシャーズ編 集)	世界の絶景43スポットを厳選して紹介する秘境トラベルガイドブック。中井太郎研究員が「フェアバンクスのオーロラ」を紹介。